



地価の高騰あおる石原都政

都心に2年間で42の超高層ビルが建設中

今年の暑さは異常で、地球温暖化対策はまったなしです。東京では、二酸化炭素を2010年までに6パーセントへらす計画なのに、逆に7パーセントふえる事態です。

最大の原因は、政府と東京都が「都市再生」の名で東京に超高層ビルを乱立させ、ビルから二酸化炭素が大量に排出されていることです。今後2年間で高さ100メートルを超えるビル建設は42ヶ所で進められ、ついに都庁の高さを抜くビルも。

それに加えて、商業地の開発によって、下北沢・高円寺など山手線外では地価が3割から4割も上昇するなど「局地的高騰」がおこっています。



西新宿の超高層ビル群

工事中の奇妙な形のモード学園

土地利用と開発の規制を緩和する都市再生は、地球温暖化と固定資産税などの負担増を加速させるとんでもない方法です。超高層ビルの乱立をおさえ、大都市の成長をコントロールしてみどりをふやすことが今こそ必要です。

梅が丘病院をなくさないで 小池晃参院議員と病院を視察

都は、2年後に都立梅が丘病院を廃止する計画を進めています。外来患者でにぎわう病院を小池晃議員とともに23日視察しました。

病院では新しい患者数はこの10年間で3倍に急増しています。子どもたちの心の病の治療の先端に立つ病院を閉鎖することは、東京の小児救急を大後退させる暴挙そ



のものです。

病院を見た小池議員は、「国会で都の姿勢を政府にただし、再検討を国に働きかけたい」と語りました。私は、存続の運動でがんばる「会」とともに、存続のために力をつくす決意です。